

内務省直轄各川計畫概要

(第二卷第六號所載)

著者 工學士 宮 川 清

小柴博士ヨリ河川ノ法線ヲ決定スル方針ニ關シ討議ヲ忝フセシハ深ク感謝ヲ表スル處ニシテ各河川ノ法線ヲ定ムルニハ一々博士ノ所謂狹法線及廣法線ノ二者ヲ適用セシニ過キス例ハ河川ノ流量輻輳シ宏大ナル流積ヲ要シ水位ノ低下ヲ圖ラサレハ危險ノ虞アル上流亂流部ノ如キ又ハ遊水ノ目的ヲ達セシメ下流ノ流量ヲ制節スル場合ノ如キハ廣法線ヲ採リ用地ノ關係又ハ障害物等ノ故障アル場合ノ如キハ狹法線ニ依ル最モ著シキ一例トス元來地盤上水位ノ昇騰ハ二十尺乃至二十五尺餘ヲ限度トシ是以上ニ嵩ムルハ堤防ノ維持上困難ナルノミナラス又從來ノ水理關係ヲ著シク變動セシメサルヲ得策トスルヲ以テ普通ノ場合ニアリテハ是等ノ範圍ニ於テ水位ヲ定メ用地費ト掘鑿費トノ損益ヲ打算シ河幅ヲ決定セシモノトス(完)